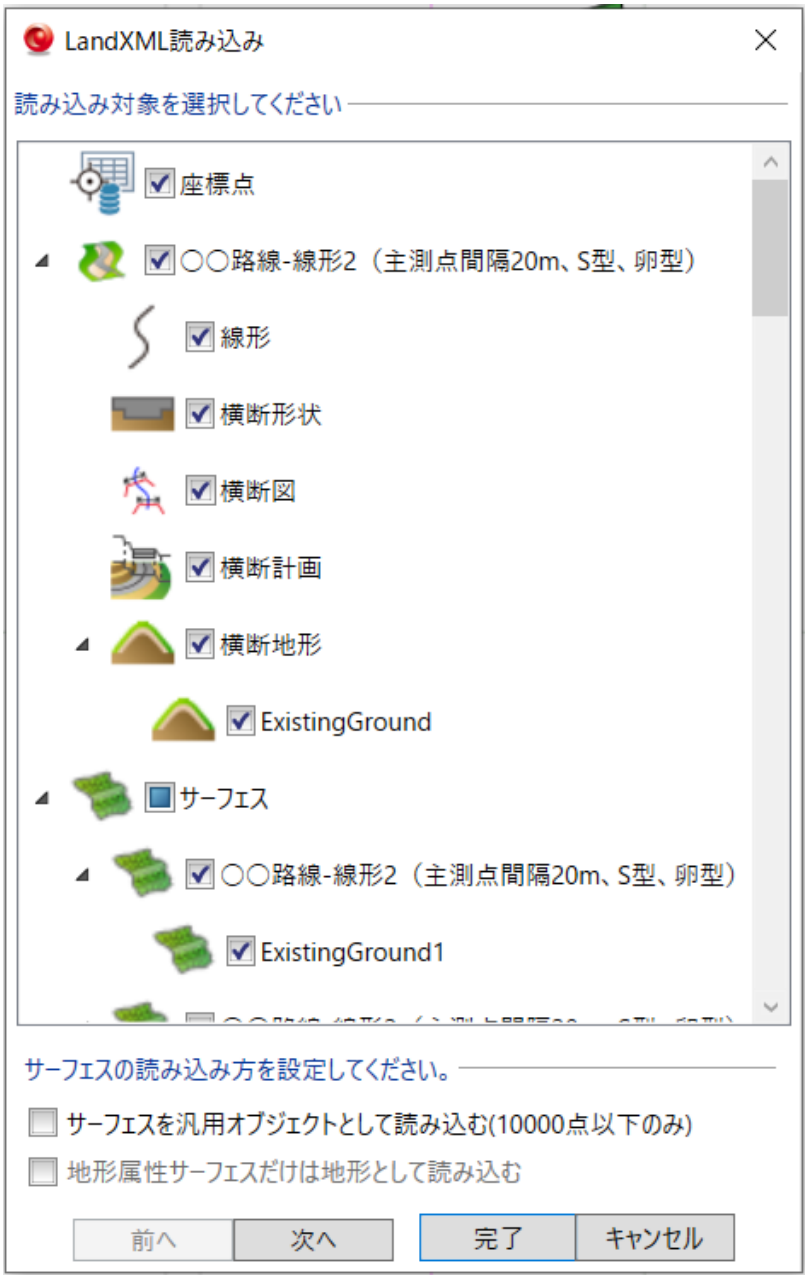
福井コンピュータ株式会社／TREND-CORE『3D 設計データ作成オプション』

【データ編集】

- 編集対象項目
  平面線形・縦断線形・拡幅片勾配・横断計画

＜LandXML 読み込み画面＞

- 読み込み対象の選択（チェックを入れたものを読み込む）

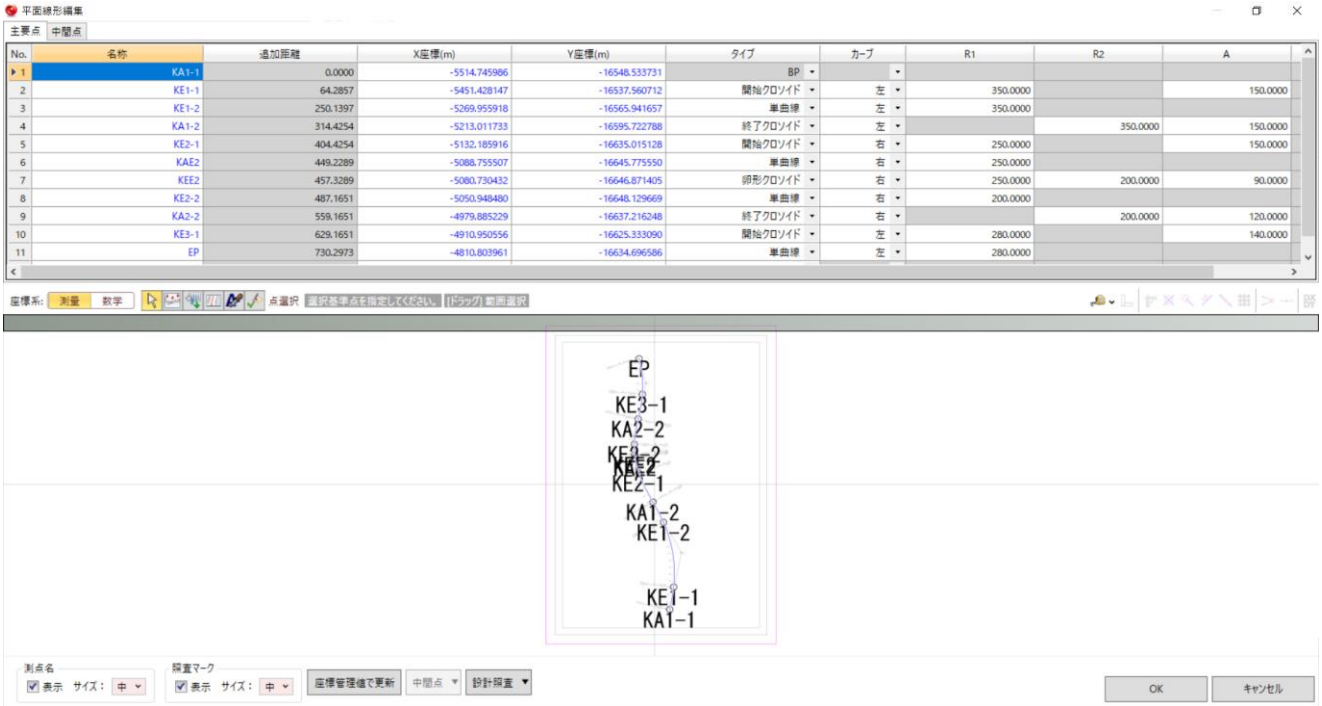


＜基本設定画面＞

- 線形開始距離・中間点のピッチ・中間点の頭文字の編集が可能
- 設定した条件に基づいて中間点を自動発生

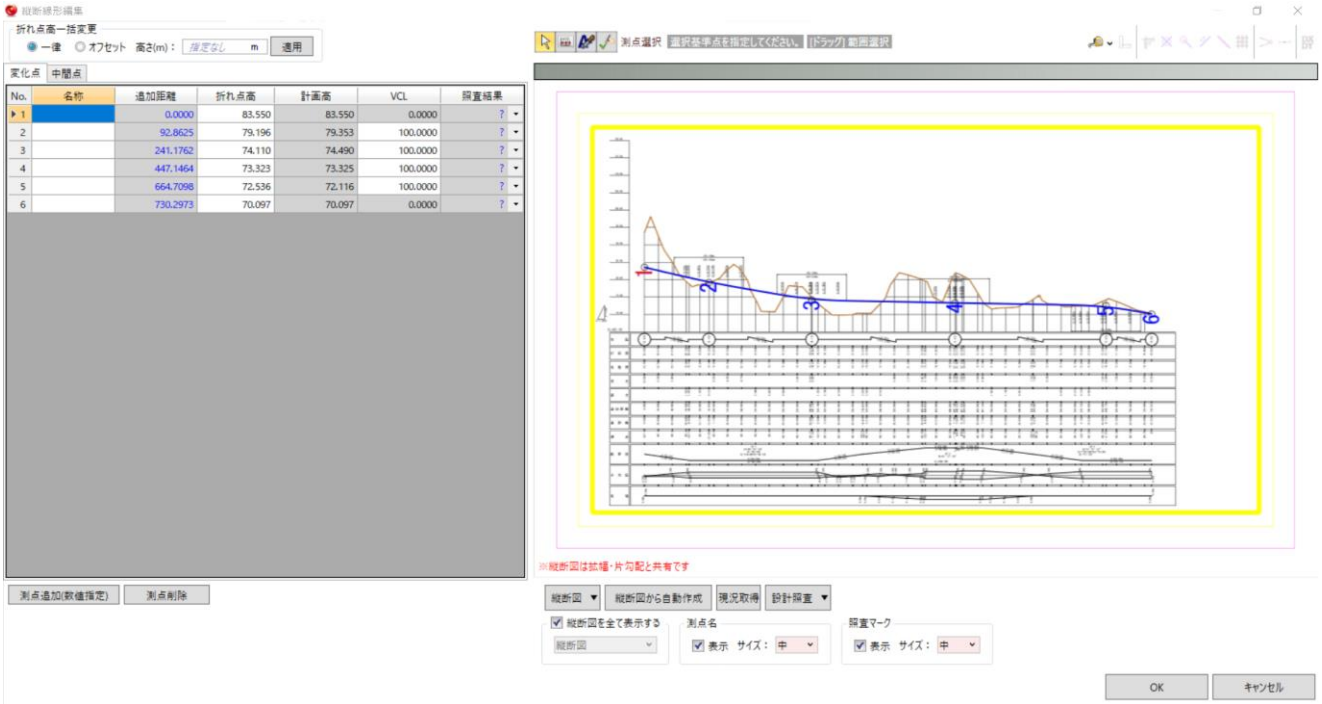
＜平面線形編集画面＞

- セルの各種パラメータを編集できる



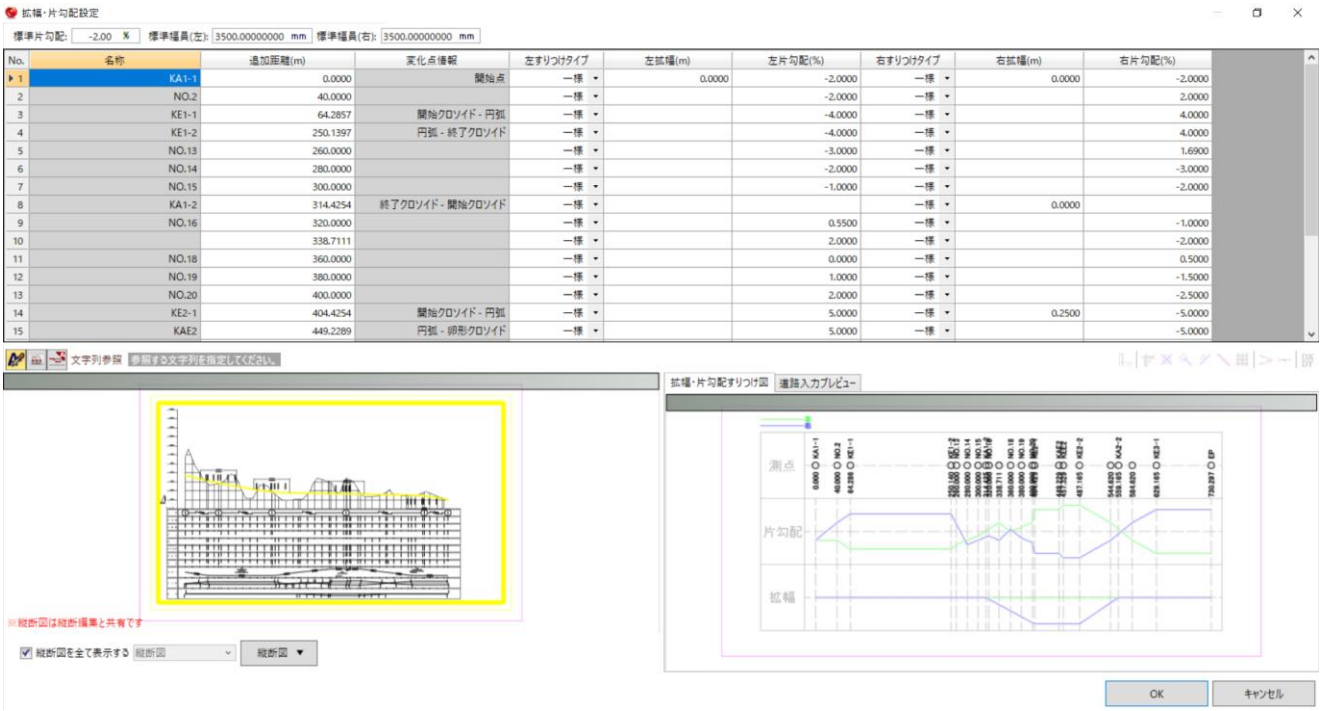
＜縦断線形編集画面＞

- セルの各種パラメータを編集できる



＜拡幅・片勾配編集画面＞

- セルの各種パラメータを編集できる

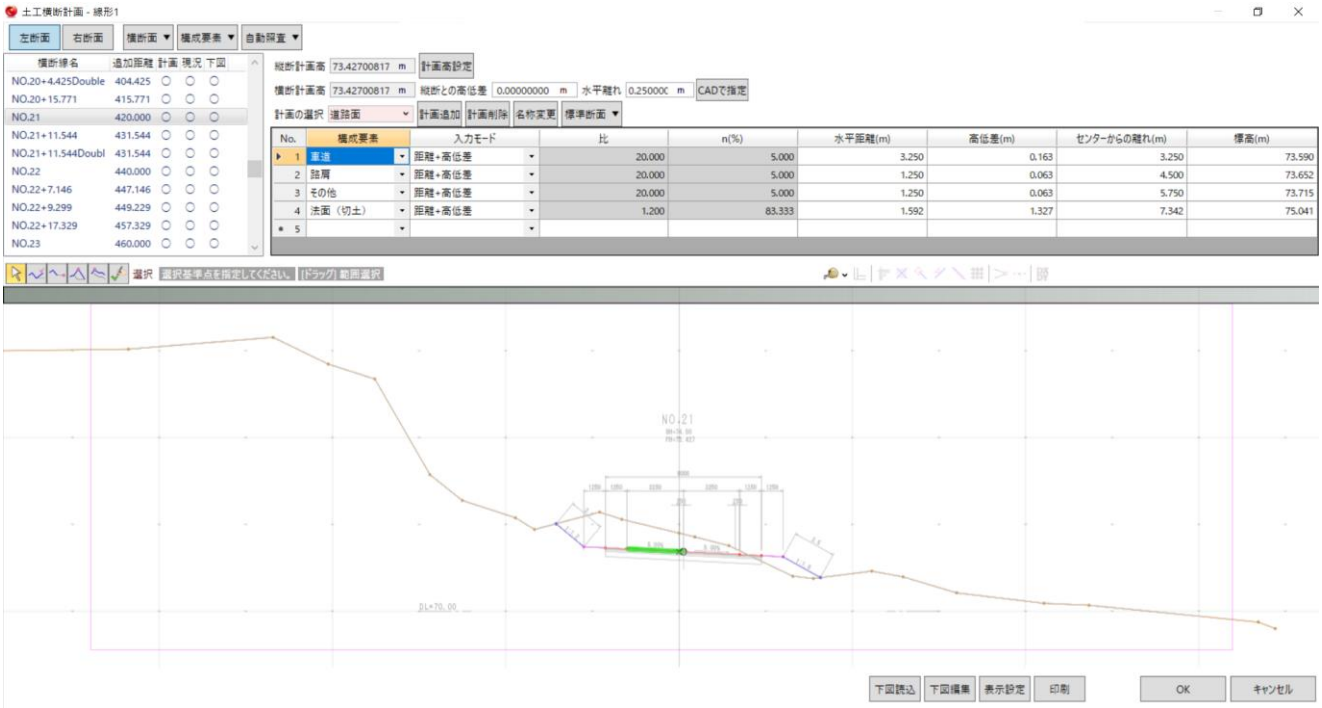


＜横断データ編集画面＞

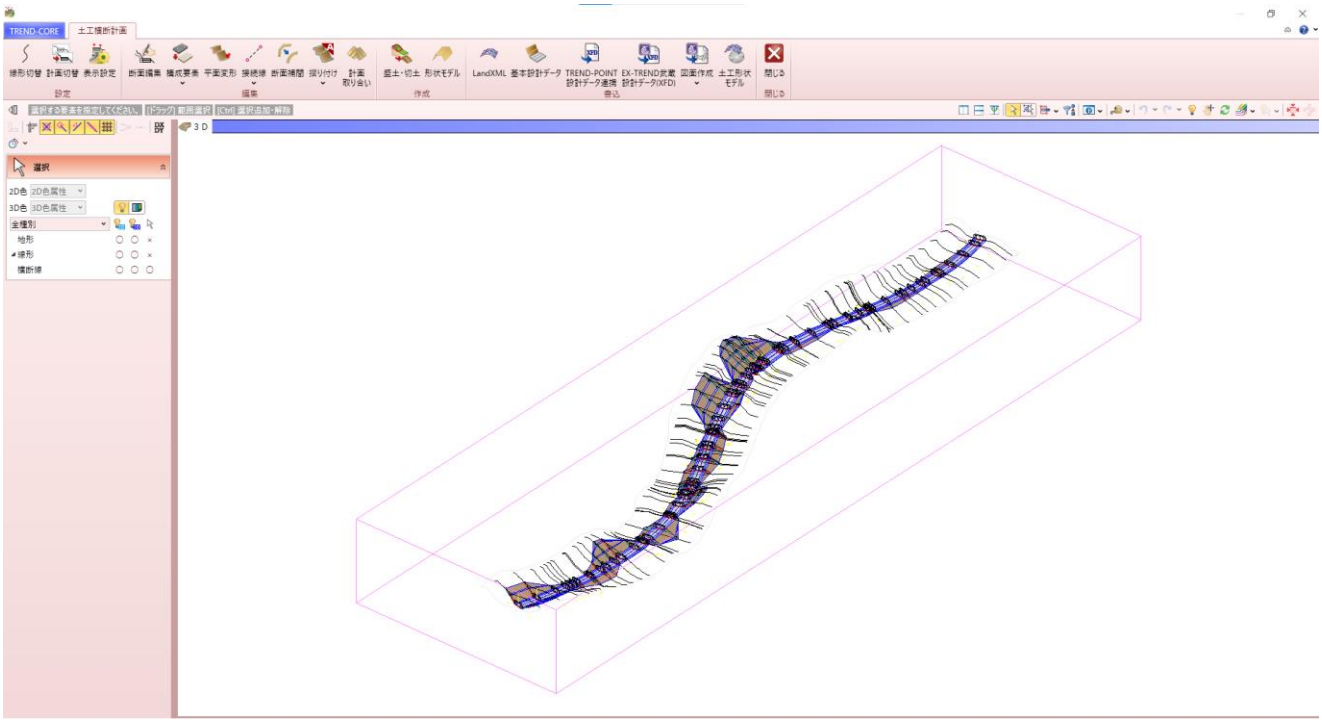
- セルの値を変更して横断計画を編集できる

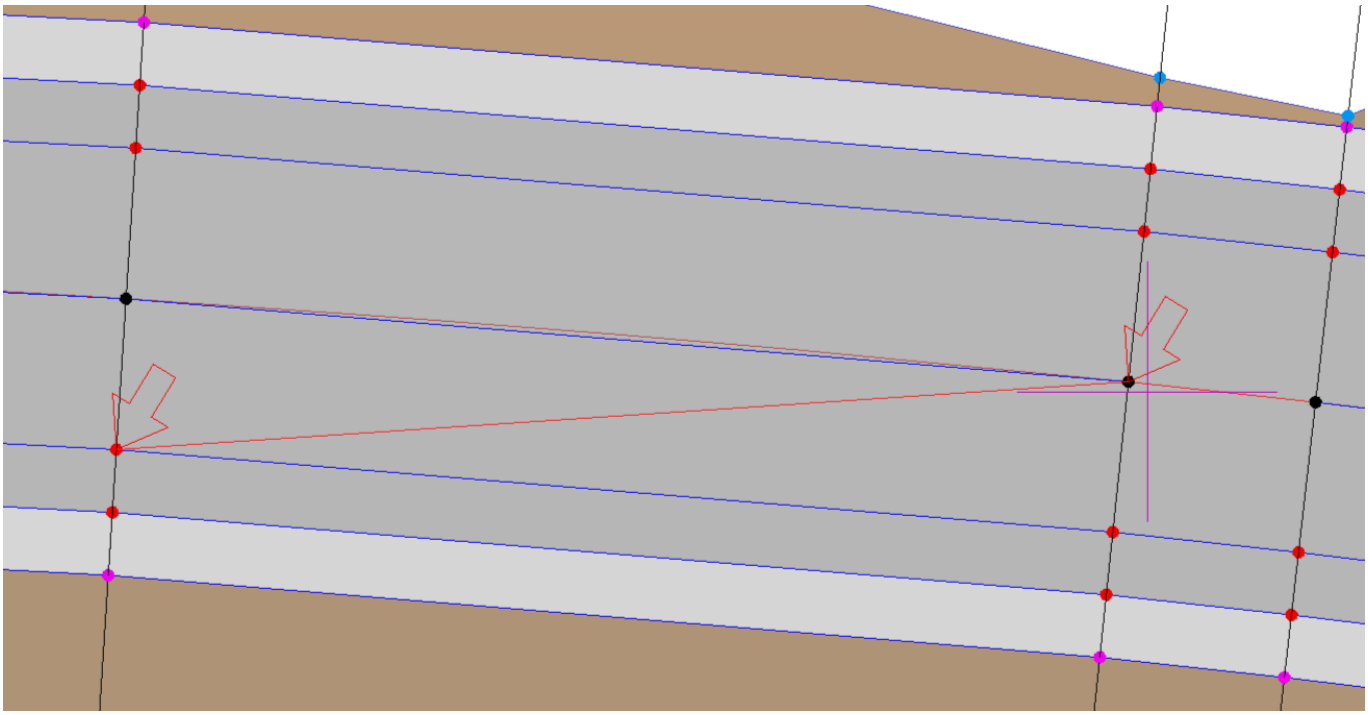
[No.12]

[No.21]



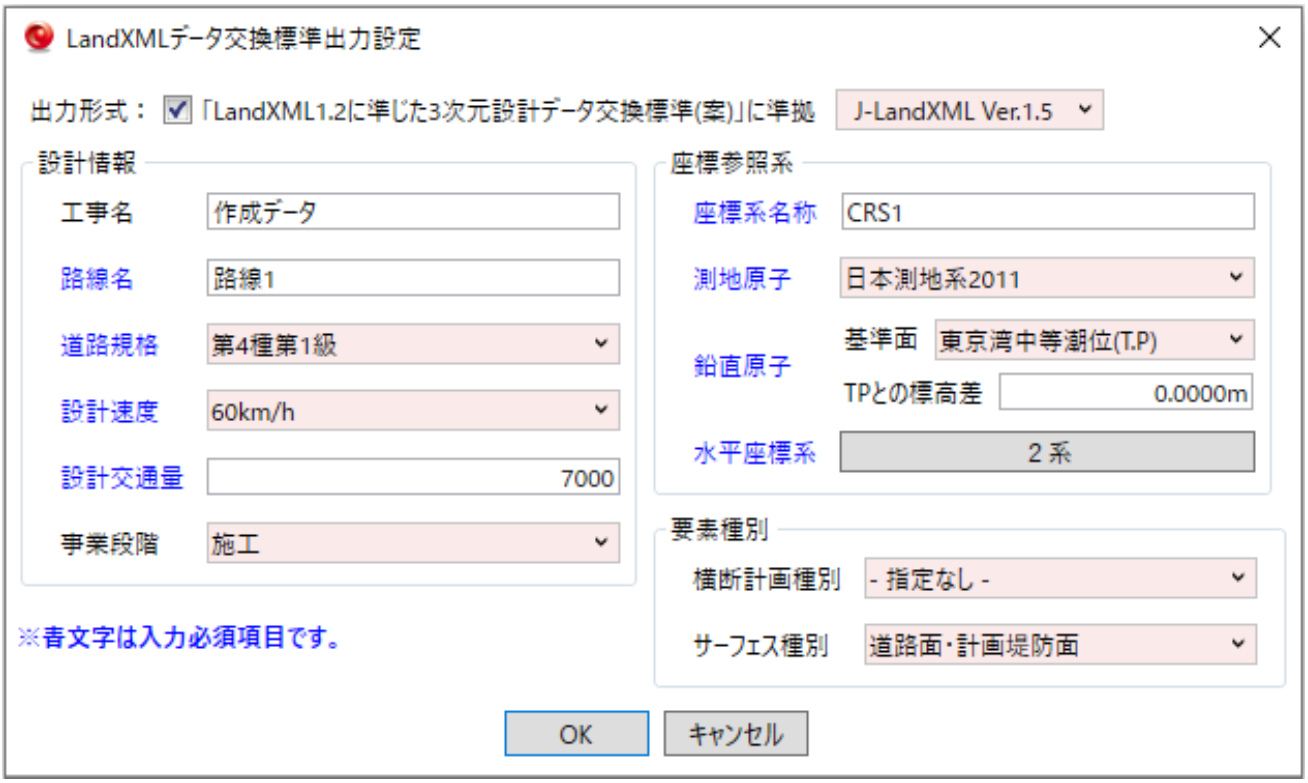
＜サーフェスデータ編集＞
前述の横断データを繋ぎ合わせてサーフェスデータを作成、接続線を編集する





＜LandXML 書き込み画面＞

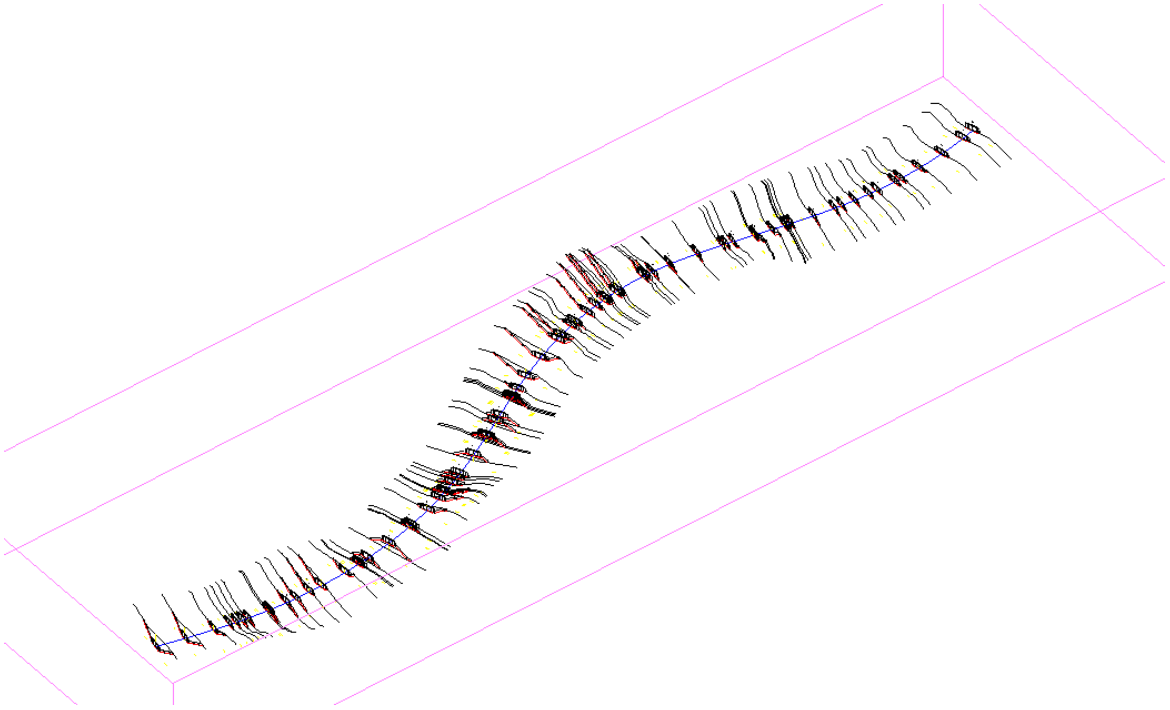
- 書込み時に以下のダイアログを表示し、参照座標系など各種設定を行う
- 出力する LandXML の形式を選択可能
- 制限事項：計画面・路床面・路体面などのサーフェスは同時に出力できない



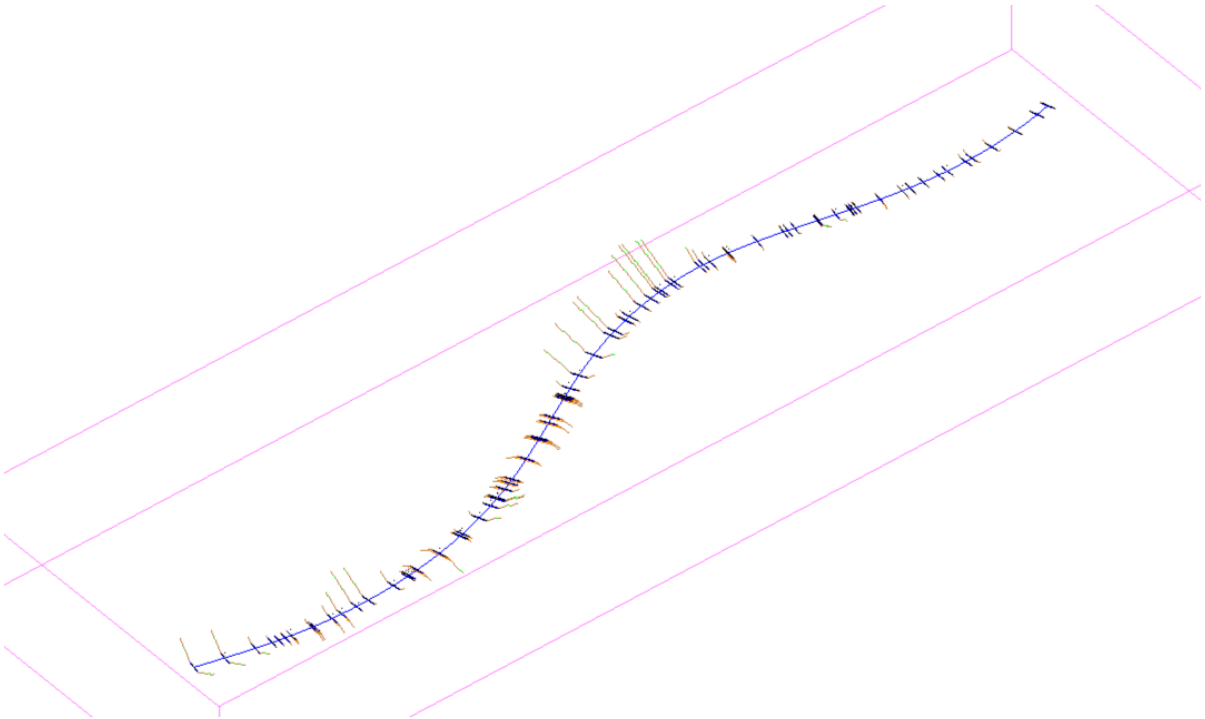
【3 次元表示】

- スケルトン
  注記：測点名
  線形・断面ごとの表示/非表示の切り替えが可能

  ・帳票、図面から作成したデータ
  形状：中心線形と横断図

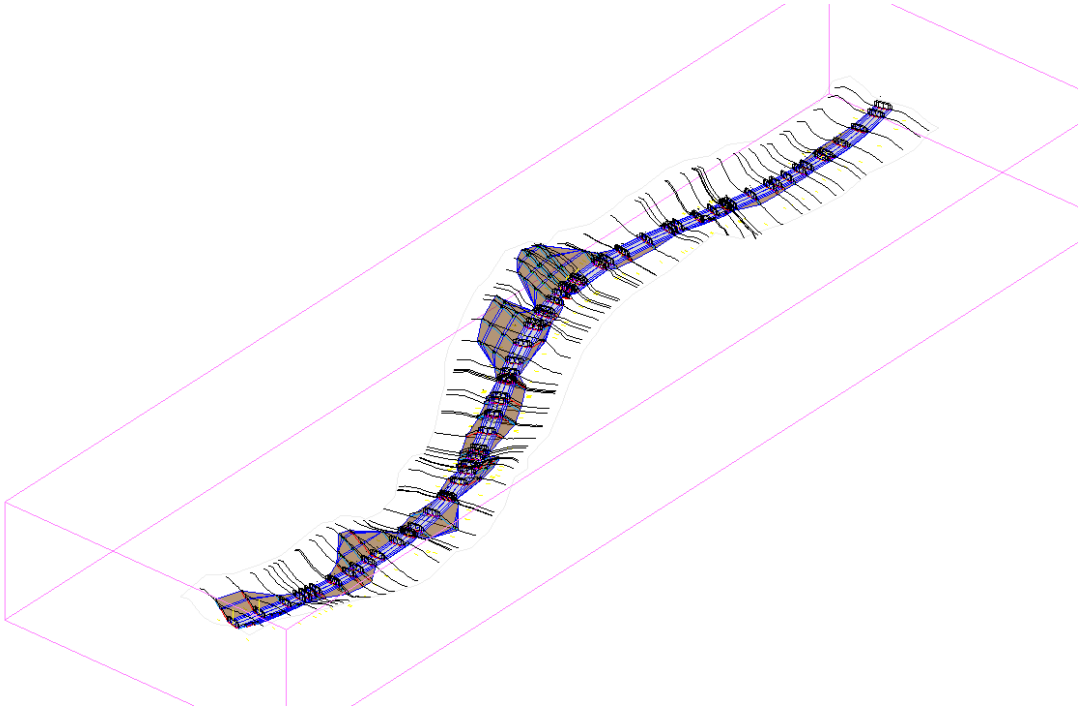


・LandXML_11_230201.XML 読み込みデータ
形状：中心線形と横断のスケルトン

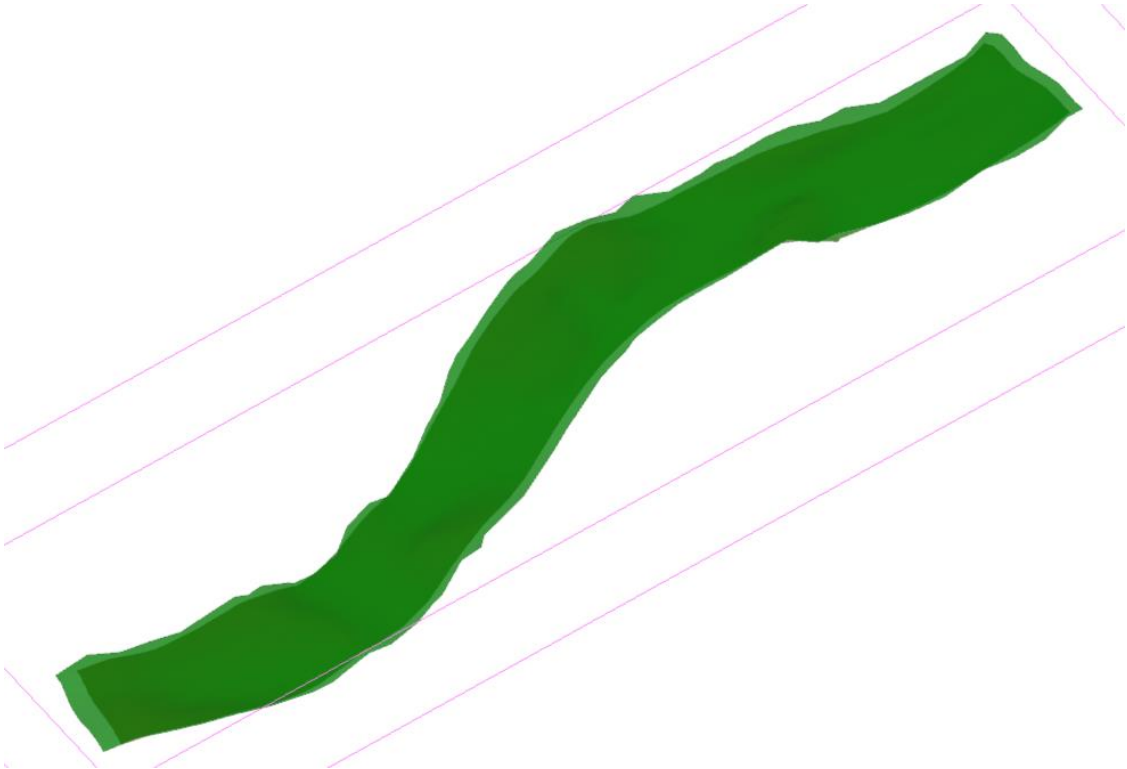


- サーフェス
  形状：3D サーフェスモデル
  サーフェスモデルの切り替え表示が可能

  ・帳票、図面から作成した横断データを繋いで作成したサーフェスデータ

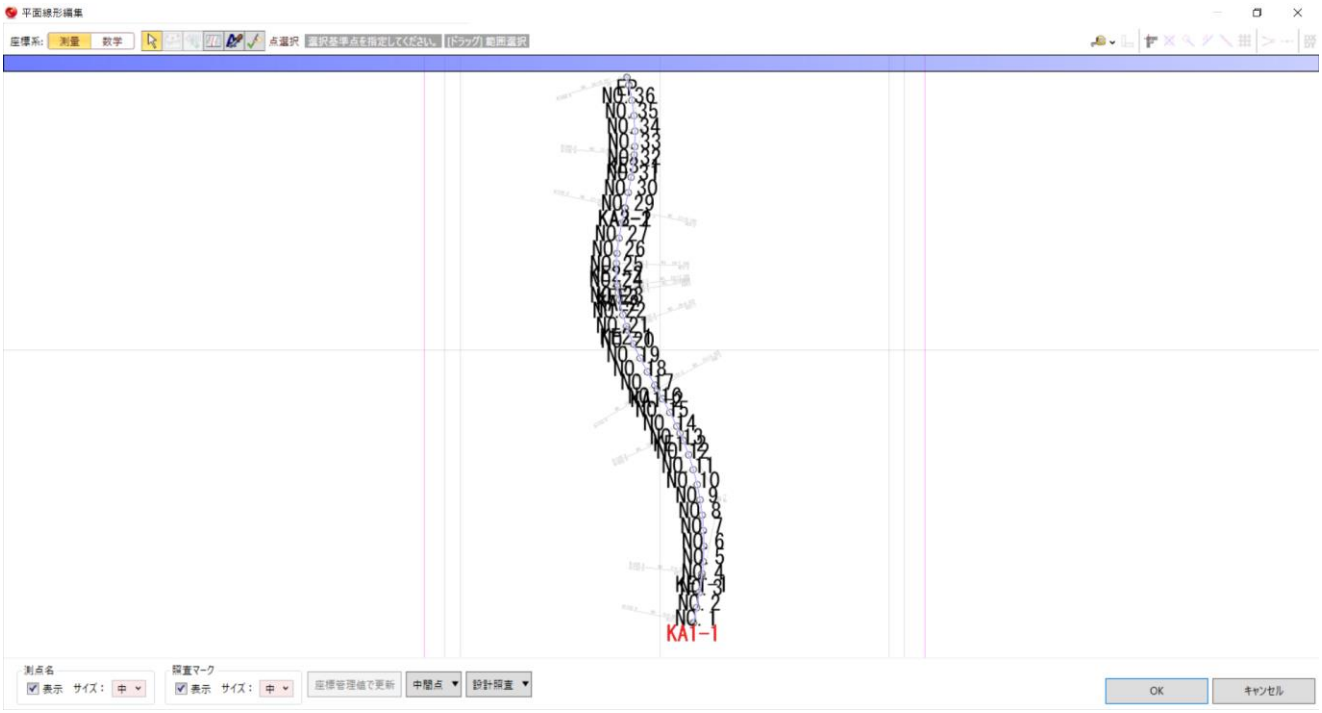


  ・LandXML_11_230201.XML の TIN サーフェスデータ
  　色の変更が可能

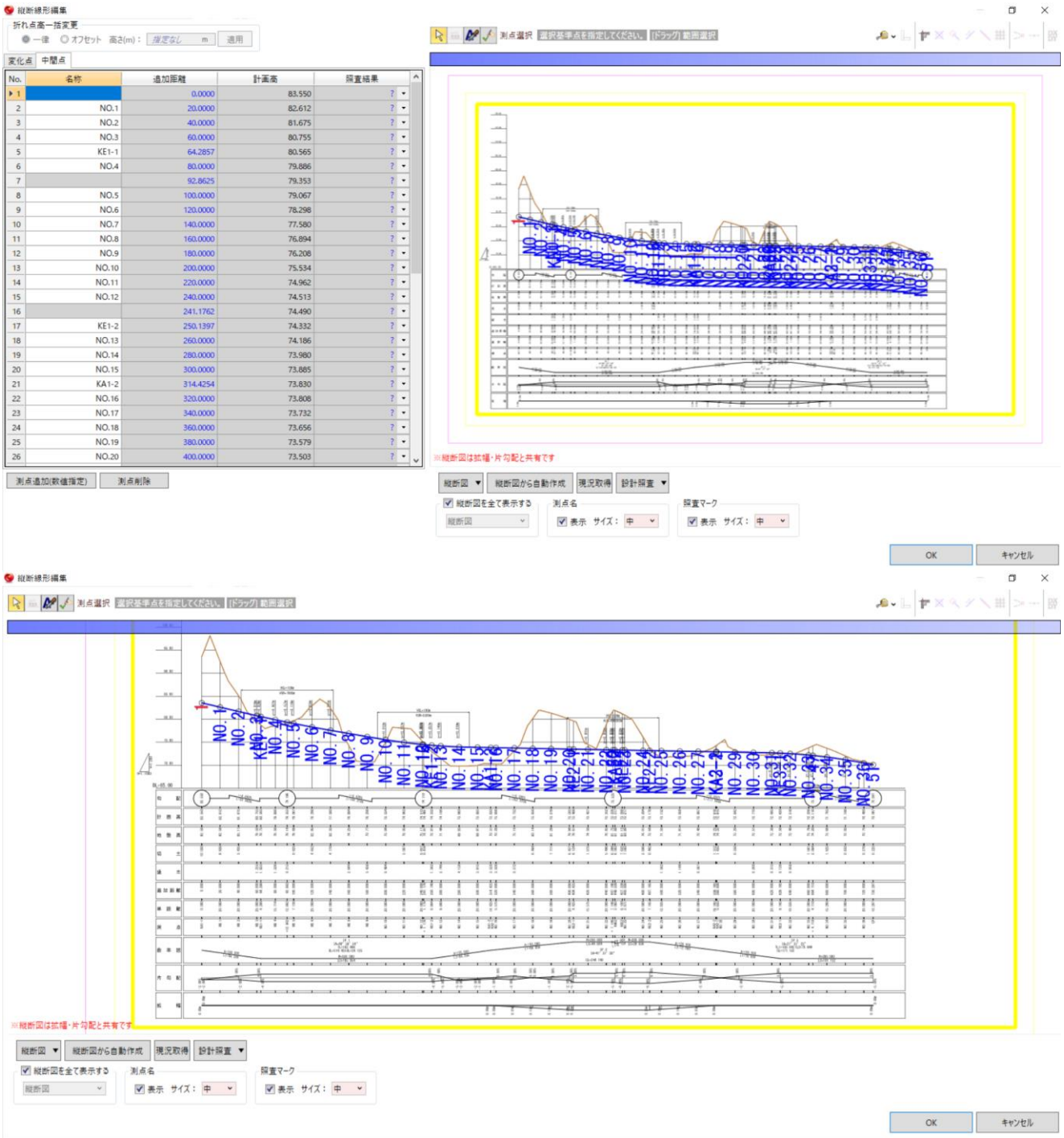


【2 次元表示】

- 平面線形
  形状:平面線形、主要点、中間点
  注記:主要点・中間点名称
  測点名の表示/非表示・表示サイズの変更が可能
  CAD の点名と上のセルの選択が連動する



- 縦断線形・縦断地盤線
  形状：縦断線形・縦断現況
  注記：変化点・中間点名称
  測点名の表示/非表示・表示サイズの変更が可能
  CAD の点名と左のセルの選択が連動する

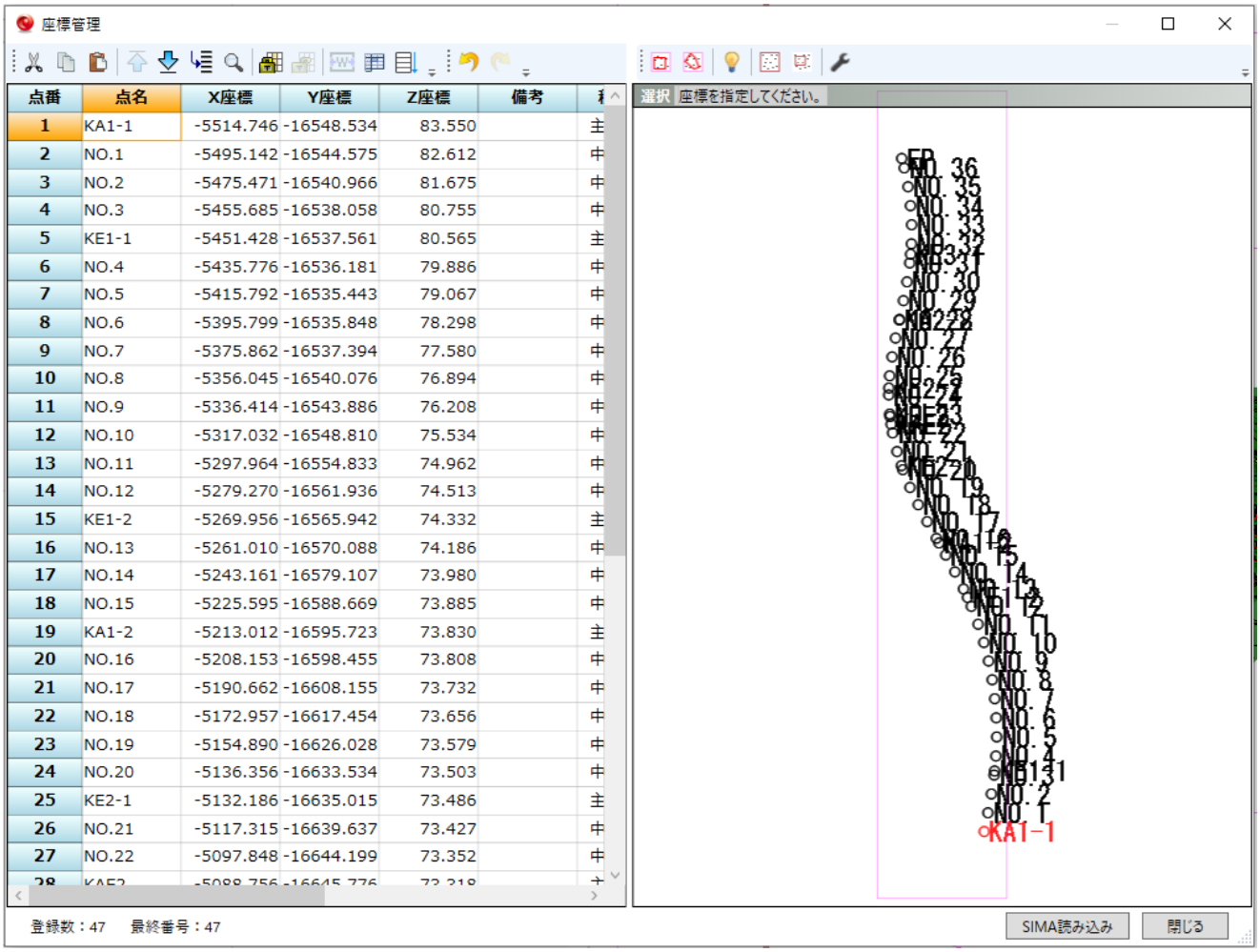


- 横断形状セット
  形状：道路面、路床面、路体面、LandXML 内にある横断地盤線（地形サーフェスから取得することも可）
  下図(図面)：SXF などから CAD データを読み込む（表示色の変更が可能）
  注記：横断面名称

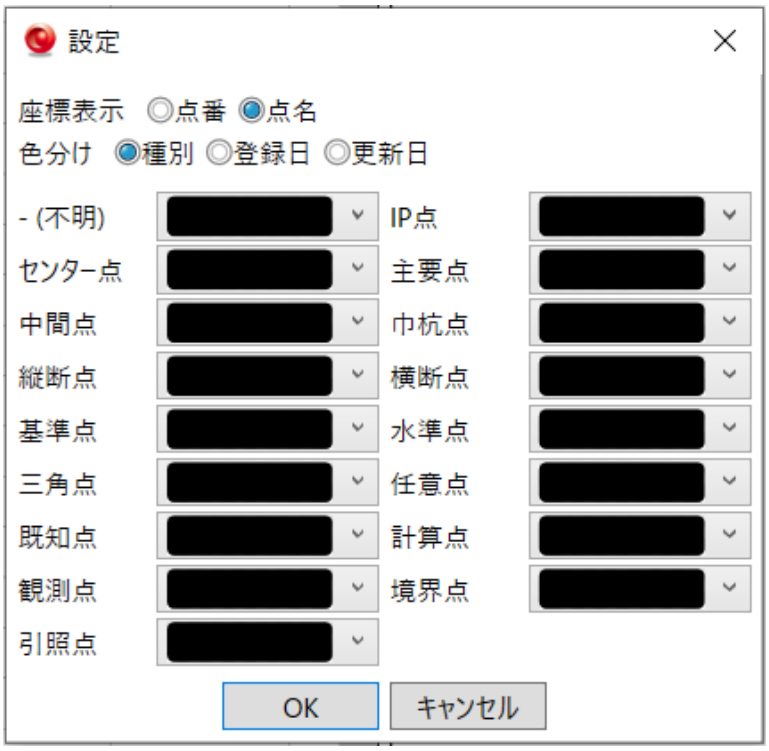
[NO.12]

[NO.21]

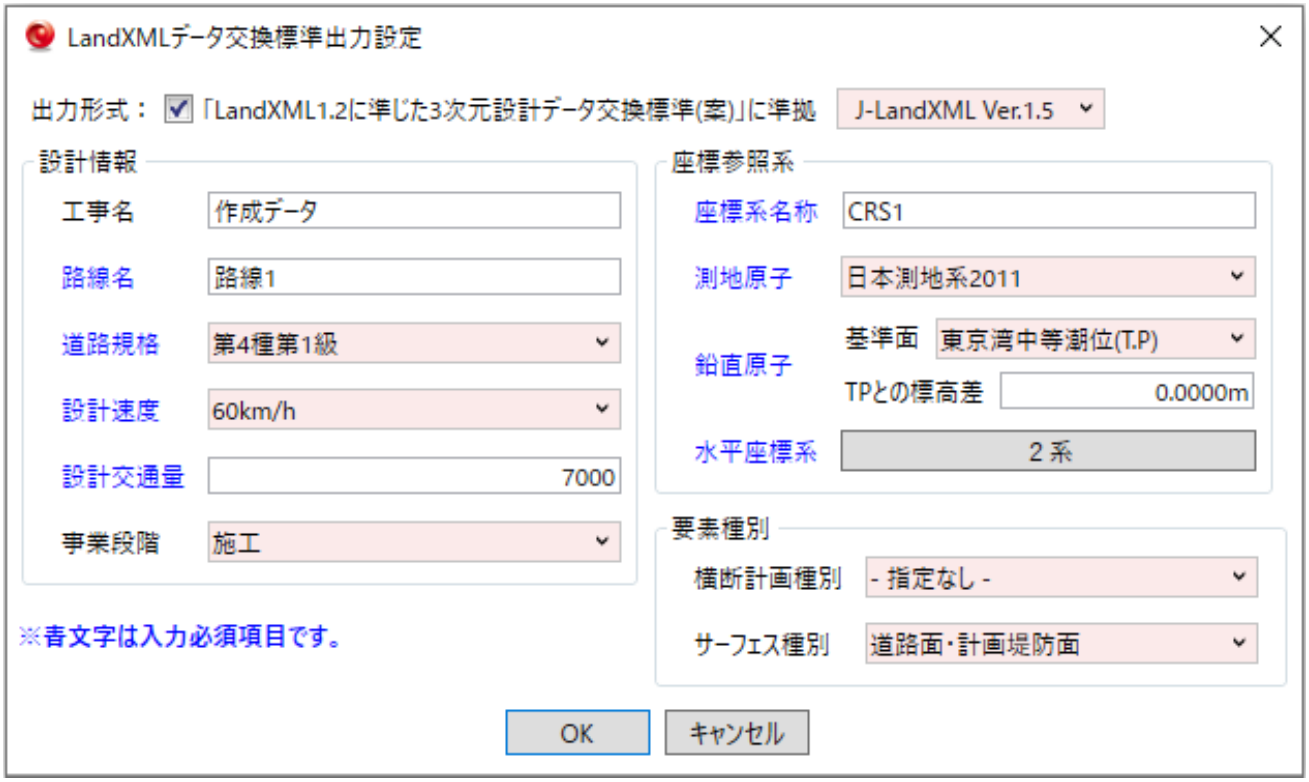
- 座標点
  形状：中間点・(基準点・水準点)
  注記：点名称



表示色の変更が可能(種別ごと)



【管理情報表示】


LandXMLデータ交換標準出力設定
出力形式：
「LandXML1.2に準じた3次元設計データ交換標準(案)」に準拠
J-LandXML Ver.1.5
設計情報
工事名
作成データ
路線名
路線1
道路規格
第4種第1級
設計速度
60km/h
設計交通量
7000
事業段階
施工
※青文字は入力必須項目です。
座標参照系
座標系名称
CRS1
測地原子
日本測地系2011
鉛直原子
基準面
東京湾中等潮位(T.P)
TPとの標高差
0.0000m
水平座標系
2 系
要素種別
横断計画種別
- 指定なし -
サーフェス種別
道路面・計画堤防面
OK
キャンセル